

九ヶ年間より 米國生活の斷 喜劇や歓劇が

疲劳せる神経が劇場に避難する

一ト。マン
難感、想像やら手製の推理や
を一纏めにしていふと、一體に
先の準^{じゅん}い家^け、筋^{すじ}の單^{たん}な事^{こと}、^{はなし}

うだ。宗教（もくぎょう）は迎（むか）られないやうである。ミニ、セカル・カメデーなるものが、多く米國（べいこく）の選好（せんこう）を現（あらわ）してゐる。

物を生産り
居や劇の話
時には謀
のではあるまいか。或はヴ
グルなるものが一般の要求

所謂ヒューリックは、何所の舞臺にも演せられ、悲劇なるものは受けが悪い。

障取るは附
八の印象や
うである。
予が最初に沙翁劇を見物に出でた

トロッキー

娘が結婚する られた一年間のローマンス

花を一目見たのが戀初め
本國へ逃げやうと云ふ條件付。▲

して宰相レ
世界に恐ろ
▲宣言し
てゐるか彼の不
可思議なるダンナ一は

軍事大臣曰
紅育邊で知
ヌム・スペ
を送る事

巴里の結婚談 秋の十月

人口調査は動く人間の數を調べるの
だから甲の調査乙の調査の間に
相違を来すのは遅くべからざる者の

様だ。州當局の調査が國勢調査
さ達ふ云つて同胞に濡衣を着せて
ゐるが、思ふ云ひは去年、紐育市

さとブロ
でも發見され市衛生局の調査より國勢調査の方が多いと云ふ文句で、日本でも東京市の人口に就き出た。所作

國勢調査の數より府當局の調査の方
が千三百ほど多いと云つて悶着を起
してゐる様な次第だ

彼女の目
じゅう
情にはだ
も博へられる、今の露國革命兒
か戀ゆゑに仕事を棄てるか假令
て可詩の

さうであつても米國が
分子を入國せし
ことは私か

が反革命者の爲めに危いのを氣
たトロツカイはんくわいしやうめいのをき
すべしとばつかつて前記の様な條件を持ち
出してゆご傳へられる

後間もな
の如き草
加州部別

日本人數

國勢調査幸告
關州より六千五百
及ばず勢
II 駄しつの非難起る

加州選出上防議員ジョンソン氏の依頼に依り華府國勢調査局より加州内の支那人に日本並ひ東

日本ノ支那人

フレスノ (下)

●佛教青年發會式先設立

於けるゴーラムは二月二日土

十

●佛教育會

十二

●佛教育會

十三

●佛教育會

十四

●佛教育會

十五

●佛教育會

十六

●佛教育會

十七

●佛教育會

●佛教育會

●佛教育會

十八

●佛教育會

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

